





Satchler 'Direct Nuclear Reactions'







$$< V > = \int d\Omega \; \chi^*(\mathrm{R}) \, V(R) \, \chi(\mathrm{R})$$

DWBA 系の解析手段では、核内は観測 出来ない

Tobocman の教科書に、既に書かれて いる

parentage expansion

$$\Psi_B(\xi,\,r_c) = \sum S(A',c) [\Psi_{A'}(\xi)\,\psi_c(r_c)]_B$$

$$ff(p,t) \propto \sum_{a\,b} S_{a\,b} < \psi_t | \psi_a(r_a) \, \psi_b(r_b) >$$
 $\psi_{a\,or\,b}$ の束縛エネルギーは如何に?

BE/2 method or hankel match ?

村岡、泉本 等 → この選択で、断面積が変動する

tail region 迄、正しい核模型が必要! r 表示の殻模型を!

殻模型 Hamiltinian H:

$$H=\sum_lpha\epsilon_a c^\dagger_lpha c_lpha + \sum_{lphaeta\gamma\delta}V_{lphaeta\gamma\delta}c^\dagger_lpha c^\dagger_eta c_\delta c_\gamma$$

 $V_{lpha,eta,\gamma,\delta}\propto\sum(CG) imes H(a,b,c,d;IT)$

 $\epsilon_a \ \mathcal{E} \ H(a,b,c,d;IT)$ の 決定に集約され 動径依存性は、は見えなくなる

> これらのパラメータを与える 相互作用 はなにか?

ANC 概念の提案

実験屋から理論家への不信任の表明

Hamiltonian $H = H_0 + H'$ $H_0 \psi_i = E_i \psi_i$

 $\Psi = \sum_i \, a_i \, \psi_i \sim a_1 \, \psi_1 + a_2 \, \psi_2$

$$\Psi
ightarrow \exp(-\sqrt{2\mu E_2}/\hbar)$$

もう一つの問題点

Ψ を展開する基底は?

直交関数系は無限 (ℵ)! 漸近形は関数系に依存する 理論的に、確定された事にはならない

核反応解析プログラムの共有化

計算機コストが100-1000億円

高効率のプログラム開発

TWOFNR の高エネルギー対応 重イオン対応

公開

計算機センターのライブラリー

INS プログラム管理委員会

触媒 核融合

CDCC 方程式を

散乱状態を入射チャネル 束縛状態を終状態とし S 行列を計算する。



高密度下で、有効に効くのではないか

温度平衡に達する時定数の決定

どなたか、定式化されませんか?